

# インフラDXモデル工事 現場見学会のご案内

日本建設業連合会の協力を得て実施中の「建設DX技術活用モデル工事（インフラDXモデル工事）」において、現場見学会を開催します。

当工事で使用する以下の最新の2技術を、各社の担当者が現場で実演！

- ① AI配筋検査システム（自動配筋検査）
- ② 点群データを活用した構造物の施工管理（3D測量）

活用を検討されている方にとっては、大変貴重な機会となりますので是非、ご参加をおねがいします。

～ あわせて、四国技術事務所からの出展（実演・体験）～

VRゴーグル・LiDAR・空間再現ディスプレイ・3Dプリンタ・フライトシミュレーター

○開催場所：高知県安芸市赤野

令和5-6年度 南国安芸道路赤野高架橋下部P26、P28工事  
※会場は、赤野高架橋下部P22-P23周辺

○開催日時：令和6年3月1日（金）13:30～15:30

（雨天の場合は中止。中止の場合は事前に連絡します。）

○対象者：四国内の建設会社（各県建設業協会、四国建設青年会議 会員企業）

※駐車場は準備しておりますが、極力乗り合わせでの、ご来場にご協力をお願いします。

○問合せ：四国地方整備局 企画部 技術管理課

課長補佐 石川  
技術検査官 蓮井  
TEL: 087-811-8311

## 【位置図】



## 【参加申し込み】

スマホで、下記の二次元コードを読み込み、入力フォームに所属、氏名を記入してください。



申し込み期限：2月20日（火）

## 【インフラDXモデル工事とは】

日建連「(一社)日本建設業連合会」の協力を得て、地域の建設業が使用可能な最新技術を活用する一般土木Cクラスの工事

《背景》

- 四国地方は高齢化が全国平均より10年早いと言われており、建設業の担い手の中長期的な育成・確保は喫緊の課題。
- 建設業就業者の高齢化や減少に対応するためには、新技術の導入による建設産業の生産性向上と若手技術者の確保や育成が重要。
- 若手技術者を確保するためには、建設業界がインテリジェンスでかつ安全にも十分配慮した業界であると認識頂くことが必要。



- 地域の建設企業が「使ってみよう」と思う最新技術を取り入れる。
- 工事施工の安全向上やインテリジェンスな最新技術を取り入れる。

### 【建設DX事例集より、今回使用する2技術を選択】

建設DX事例集番号	会社名	事例名	建設DX事例集ページ
29	鹿島建設(株)	AI配筋検査システム	57
71	(株)不動テトラ	点群データを活用した構造物の施工管理	141

### 《建設DX事例集》

○小規模工事へDX技術の取組み推進に向け、会員企業が保有する技術やノウハウを広く全国に普及させ、活用するために作成。(掲載91技術)

## 建設DX事例集

2022年3月

一般社団法人日本建設業連合会  
JFPA JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS  
インフラ再生委員会

※建設DX事例集  
日建連HP 二次元コード



### 【現場写真】

